

10 特別支援学級等の設置状況

(H30.5.1現在 特別支援教育課調)

小・中・特別 障害別	学級数 (前年度比増減)	児童数 生徒数	担任 教員数	学級数別学校数					
				1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級
合計	2,328 (104)	10,549	2,328	1,353	323	82	17	3	0
小計	1,631 (83)	7,441	1,631	916	235	64	12	1	0
知的	854 (43)	4,016	854	430	142	40	5	-	-
肢体不自由	7 (4)	12	7	7	-	-	-	-	-
病弱・虚弱	4 (-1)	7	4	4	-	-	-	-	-
弱視	1 (-)	2	1	1	-	-	-	-	-
難聴	17 (-)	63	17	13	2	-	-	-	-
言語	75 (-6)	515	75	20	15	3	4	-	-
自閉症・情緒	673 (43)	2,826	673	441	76	21	3	1	-
中計	697 (21)	3,108	697	437	88	18	5	2	-
知的	386 (8)	1,830	386	226	59	10	3	-	-
肢体不自由	1 (-)	2	1	1	-	-	-	-	-
病弱・虚弱	2 (1)	3	2	2	-	-	-	-	-
弱視	1 (1)	1	1	1	-	-	-	-	-
難聴	4 (-)	7	4	4	-	-	-	-	-
言語	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-
自閉症・情緒	303 (11)	1,265	303	203	29	8	2	2	-

(通級指導教室) 教室数は担当教員数と巡回による指導を行っている教室数、特別支援学級で通級による指導を行っている教室数及びサテライト教室を加えた数

教室数	児童数 生徒数	担当 教員数	教室数別学校数							
			1教室	2教室	3教室	4教室	5教室	6教室	7教室	8教室
576 (36)	5,847	367	384	66	15	2	0	0	1	0

注・()内数字、前年度比増減示。

・義務教育学校は、児童生徒合わせて1教室1担当。

- ・言語298教室
- ・情緒55教室
- ・難聴31教室
- ・弱視14教室
- ・LD、ADHD94教室
- ・肢体不自由81教室
- ・病弱3教室

11 公立学校の施設

(1) 建物・運動場保有状況

(校(園)舎保有面積のうち、木造及び鉄骨その他造は鉄筋コンクリート造に換算した面積である。なお、危険面積は、耐力度数が非木造5,000点(H20.4.1~4,500点)以下、木造5,500点以下の面積とする。)

ア 幼稚園

(H30.5.1現在 財務課・教育施設課調)

区分	保有面積		必要 面積	整備 資格 積	危険 面積 (要改築面積)
	面積	構造比率			
計	118,469	100	87,903	6,964	— (-)
園舎	木造	30,999	26	—	—
	鉄筋コンクリート造	65,056	55	—	—
	鉄骨その他造	22,414	19	—	—
屋外運動場	161,259	—	—	—	—